

建築工学科 デュアルシステム

「ドローン測量実習」

コロナの影響で1学期途中から取り組んでいるデュアルシステムが中盤を向かえました。

「中村建設株式会社」のご協力により、建築工学科3年生4名が毎週火曜日の午後に参加しています。本校の耐震工事現場の説明や、見学、建設業に大切な講義や実習を行ってきました。

10月6日(火)、この日はドローンを使つての測量写真撮影実習を行っていただきました。



ドローンに関する講義を受けています



カメラは4Kでとてもきれいに写ります
動画も撮れます



操作の説明を受けています



緊張しながらの操作です



奈良テレビ放送と読売新聞社が取材に来ています





あっという間に100m上空に！



自撮りもできました！！

(第31号測量地許可)

2020年(令和2年)10月8日(木曜日)

奈良

新聞

校舎耐震工事 実習に活用

奈良朱雀高



実習でドローンの操縦を学ぶ生徒ら(奈良市で)

県立奈良朱雀高(奈良市)が、校舎の耐震工事を実習に活用している。県教育委員会が進める地元企業での実習と授業を連動させる取り組みの一環で、新型コロナウイルスの感染拡大で校外実習が難しいため、同校で行っている校舎の工事を利用することにした。測量などに必要なドローンの操作を学ぶなど、社会に出てすぐに役立つ知識や技術を習得しようとしている。

野張泰誠さん(17)は「操作は思ったより簡単で驚いた。学校の授業で体験できないことを学べ、ためになる」と話した。

撮影した画像が、工事の進捗状況の報告や測量に活用され、人手不足が深刻な建設現場で作業の効率化に役立っている。ことなどについても説明を受けていた。

野張泰誠さん(17)は「操作は思ったより簡単で驚いた。学校の授業で体験できないことを学べ、ためになる」と話した。

地元企業指導 ドローンで測量など

外部の企業などでの実習を授業と連動させる取り組みは、県教委が「奈良県版デュアルシステム」と称し、2019年度から県内の工業高校に導入している。

同校も今年度から取り入れたが、新型コロナウイルスの影響で校外実習は難しいため、昨年度から始まった校舎の工事を手がける中村建設に協力を依頼したという。生徒4人は年間を通じ週1回、実習に参加。安全管理な

ど現場ならではの課題についても理解を深めてきた。井上和彦教頭は取り組みの成果について、「実習を単なる会社見学に終わらせず、実践的な知識や技術として定着させられる」と期待する。

デュアルシステムは、御所実業高(御所市)や王寺工業高(王寺町)でも導入されている。県教委は今後、工業高校の教育の中核としていく考えで、「地域産業に貢献できる即戦力の人材育成につながれば」としている。